

「みんな」で進めるまちづくり計画

行方市総合戦略（改定版）を策定しました

行方市総合戦略とは

近 年、全国的に急速に進展している人口減少や少子高齢化からの脱却を図ろうと、2016年から本市で初の試みとなる「なめ

がた市民100人委員会」を組織し、市民、地域、行政が一体となって「行方市総合戦略」を策定しました。

みんなが主役のまちづくり

身の丈に合った市政運営

「継続」から「変革」へ

こうした動向を踏まえ、なめがた市民100人委員会を新たに立ち上げ、今後の5年間のまちづくりについて、市の課題を自分ごととして捉えながら「行方市総合戦略（改定版）」をまとめました。

将来の人口

人 ロビジョンは、本市の人口動向や将来人口のシミュレーションによる人口の現状分析を行い、将来人口の方向性を示したものです。

本市の人口は現状のままでは、自然動態、社会動態のマイナスが大きくなり、下位シミュレーション（青い線）のようになってしま



総合戦略（改定版）の特徴

新 たな視点として、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式への対応、多様な人材を活用する環境づくりの推進、※Society5.0の実現に向けたデジタル技術の活用、誰一人として取り残さない社会の実現を目指す※SDGsの達成を加え、取り組みを横断的に推進します。

総合戦略は、全ての市民に本市を「自分ごと」として捉えてもらえるように、総合戦略を読んで行動を起こしやすいように、分かりやすい表現を意識して策定しています。改定にあたって、市民が策定のプロセスから「自分ごと」と

います。人口の減少や高齢化が進むことは、地域社会の担い手が減少するだけでなく、地方の経済も縮小し、さまざまな社会的・経済的な課題が生じてきます。こうした状況を踏まえ、若い世代の結婚・子育て等に関する希望を実現し、ニーズに沿った定住・移住施策を推進する総合的な支援・雇用の拡大等の取り組みを重点的に進めていきます。

将来像

笑顔で住み続けたいまち、行方「行方ならではの価値の共有」を高めるために

3つの基本理念

「継続」から「変革」へ

みんなが主役のまちづくり

身の丈に合った市政運営

※ 1 Society5.0 狩猟社会にはじまり、農耕社会、工業社会、情報社会と発展した次のAIやロボット、デジタルなどの革新技术を取り入れることにより実現する新たな未来社会

して感じてもらうために、無作為で選ばれた「なめがた市民100人委員会」を立ち上げ、市民の生活実感に近い戦略を取りまとめた計画となっています。

総合戦略（改定版）の概要

総 合戦略（改定版）は3つの章でまとめられています。

第1章 「笑顔で住み続けたいまち、行方」を将来像に掲げ、将来実現すべきまちの姿を示しています。3つの基本理念は、「継続から変革へ」、「みんなが主役のまちづくり」、「身の丈に合った市政運営」として、これらの基本理念に沿って持続可能なまちづくりを進めます。

第2章 本市の課題を解決するために「5つの重点プロジェクト」を掲げ、基本目標、施策、行政の取り組みを示しています。また、市民や地域、民間等の取り組みについても記載してあります。

第3章 総合戦略の「成果に磨きをかけるために」、各分野で補完・具体化する分野別計画を一覧にまとめています。その他、人口データ集において、本市の人口や産業について知ることができます。

5つの重点プロジェクト

働く場の拡大プロジェクト

ブ ランディングや6次産業化により農畜水産物の付加価値を高め、新たな担い手による新規就農の拡大や後継者の育成を図ります。また、地元の産業の活性化のため、地方回帰の動きやテレワーク等の多様な働き方などの社会情勢の変化と、地元企業のニーズを捉え、時代に合った産業振興や雇用拡大の取り組みに努めます。

健康で文化的なまちプロジェクト

地 域の中で、子どもも高齢者もがみんなで助け合うことのできる地域づくりを進めていきます。また、市民が安心して医療体制を維持していくために、医療と介護の連携による包括的かつ継続的な地域包括ケアシステムの拡充と、市民と共に進める健康増進の取り組みの充実を図ります。

住みやすい地域プロジェクト

住 み慣れた地域で、誰もが自分らしく日常生活や社会生活を営むことができる地域共生社

会を目指すために、本市の「住みやすさ」を最大限に生かすことができるよう公共施設、公共交通、地域づくりを部分最適で考えるのではなく、地域全体に派生する全体最適の施行によるまちづくりを図っていきます。

みんなで育むプロジェクト

本 市の豊かな自然環境で、市民が安心して子どもを産み、育てることができると環境を整備し、子どもの頃から郷土愛を育む教育環境を充実することが、今後ますます重要になります。市内外に住む若い世代から「行方市で子どもを産み、育てたい！」と住む場所として選んでもらえるような街づくりを進めていきます。

情報発信で日本一プロジェクト

誰 もが簡単に利用できる地上デジタルテレビ放送で、情報を共有するまちづくりを始め、全市民活躍の機会を創出していきます。また、デジタル技術を活用し、行政の手続きや業務の効率化や行政情報を市民が活用できる環境整備を進めていきます。



なめがた市民100人委員会の様子



なめがた未来のまちづくり協議会の様子

▼市の取り組み、知ってみませんか？

カタポケに飛びます
（行方市のコンテンツ）

行方市総合戦略（改定版）
～みんなで進めるまちづくり計画～

市民と一緒に考える
行方市の未来

